



フルカラー
漫画
15ページ

学校の隅っこで
1

カップル
(毎日中出しセックス)

クラスメイトカップル編

クラスメイト

今からセックスしに
校舎の外れに移動中

まだ妊娠不可

クラスメイト同士の
中出しセックスを目撃

昼休みの
ことだった

先生に頼まれて
校舎の隅にある
倉庫に授業で使う
道具を取りに来た

その倉庫は
普段誰も来ないような
場所にあるんだけど……

あ、

……

ん、

ハッ、

ハッ、

クラスメイトの
ユウマ君と
アオイちゃんがい

アオイの
ナカすい
気持ちい

スッ

スッ

やだっ
恥ずかしい

ハッ、

ハッ、

なぜか二人は
裸で下半身を
擦り付けあっていた

よく見てみると
ユウマ君の
大きく膨らんだ
オチンチンが

アオイちゃんの
おまたの割れ目に
入っただけ……

ズッ♡

ん♡

ズッ♡

あん♡

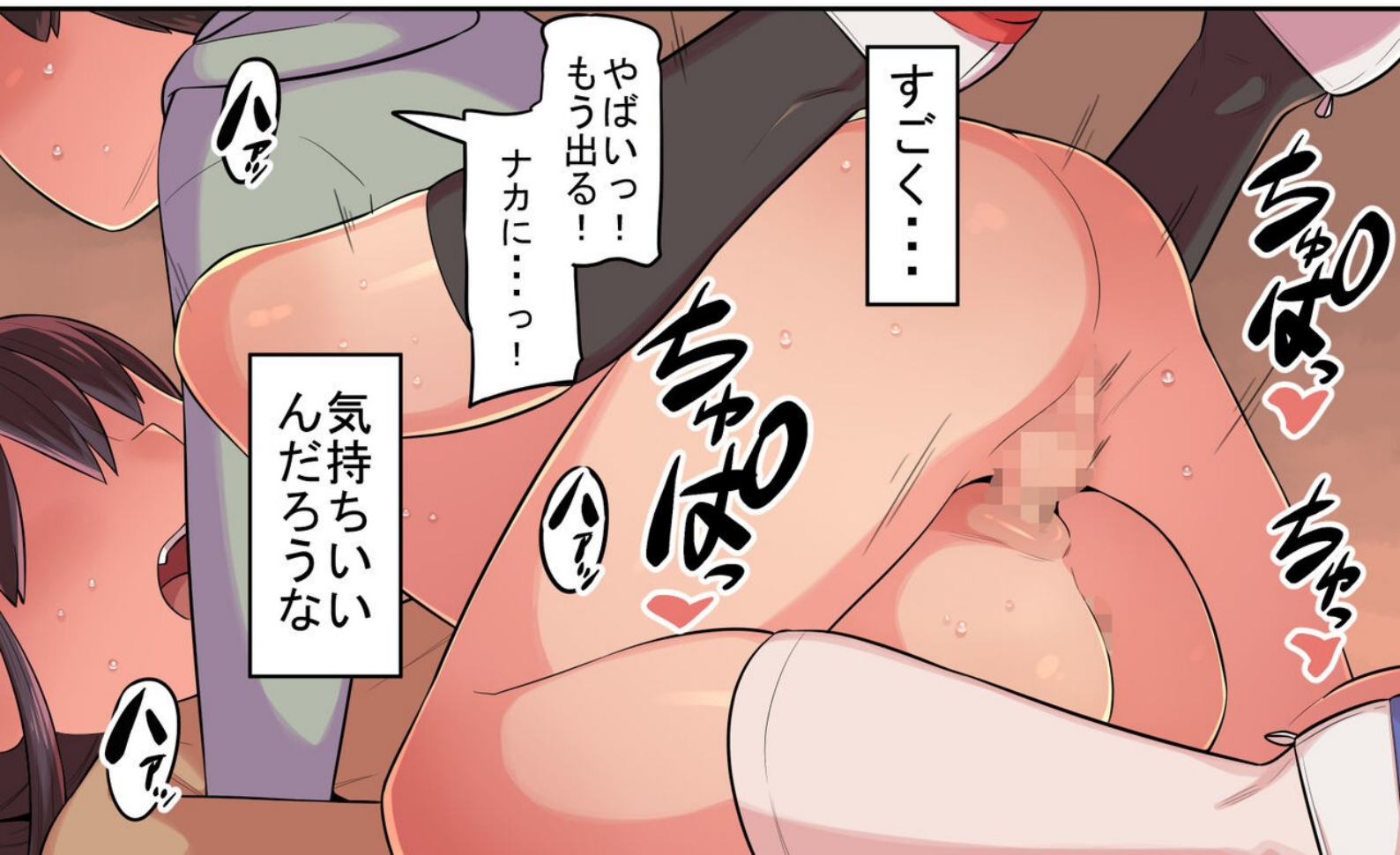
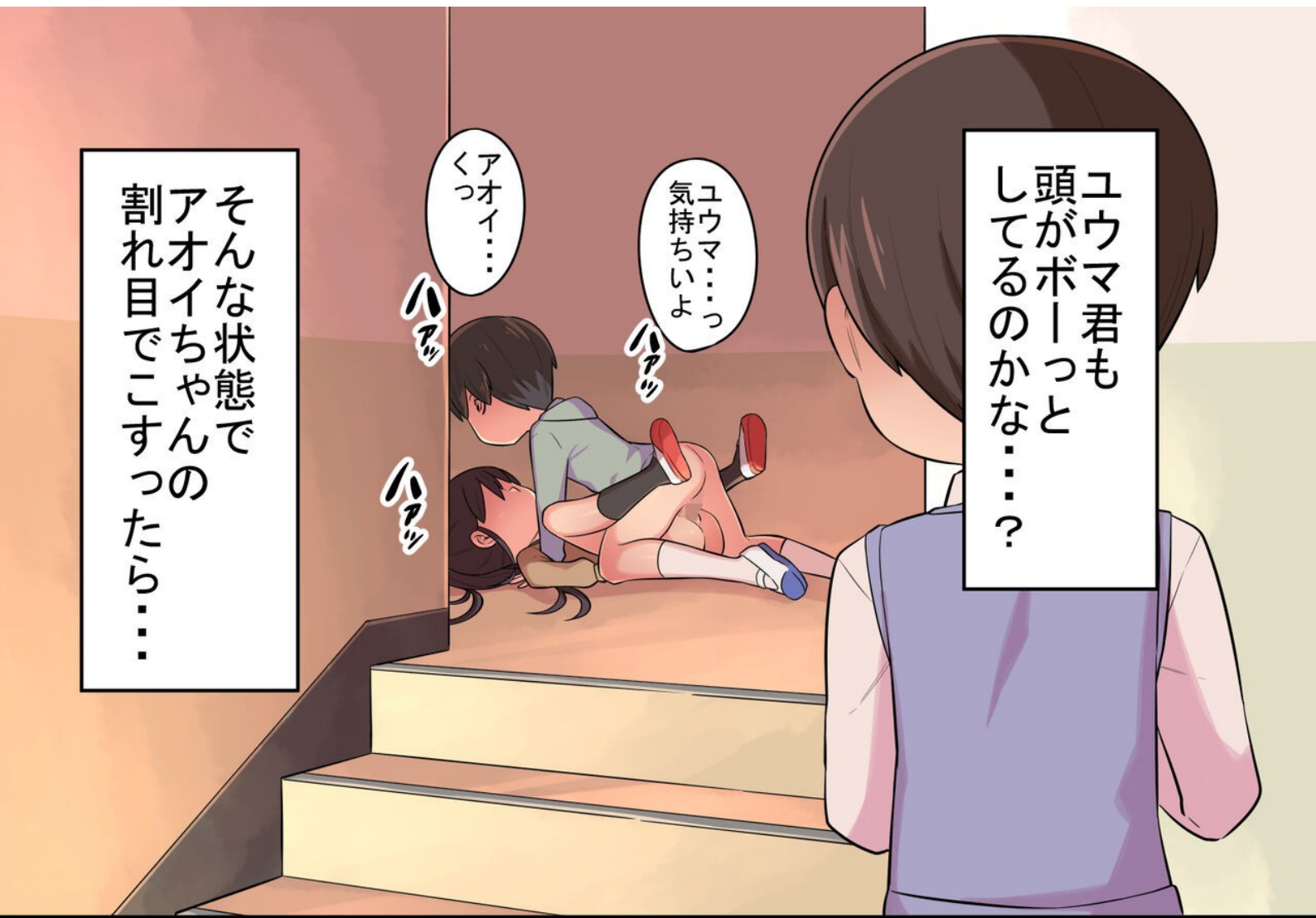
ズッ♡

ん♡

それを知った瞬間
僕のオチンチンは
ムクムクと膨らんで

頭がボーっと
して何も
考えられなくなった

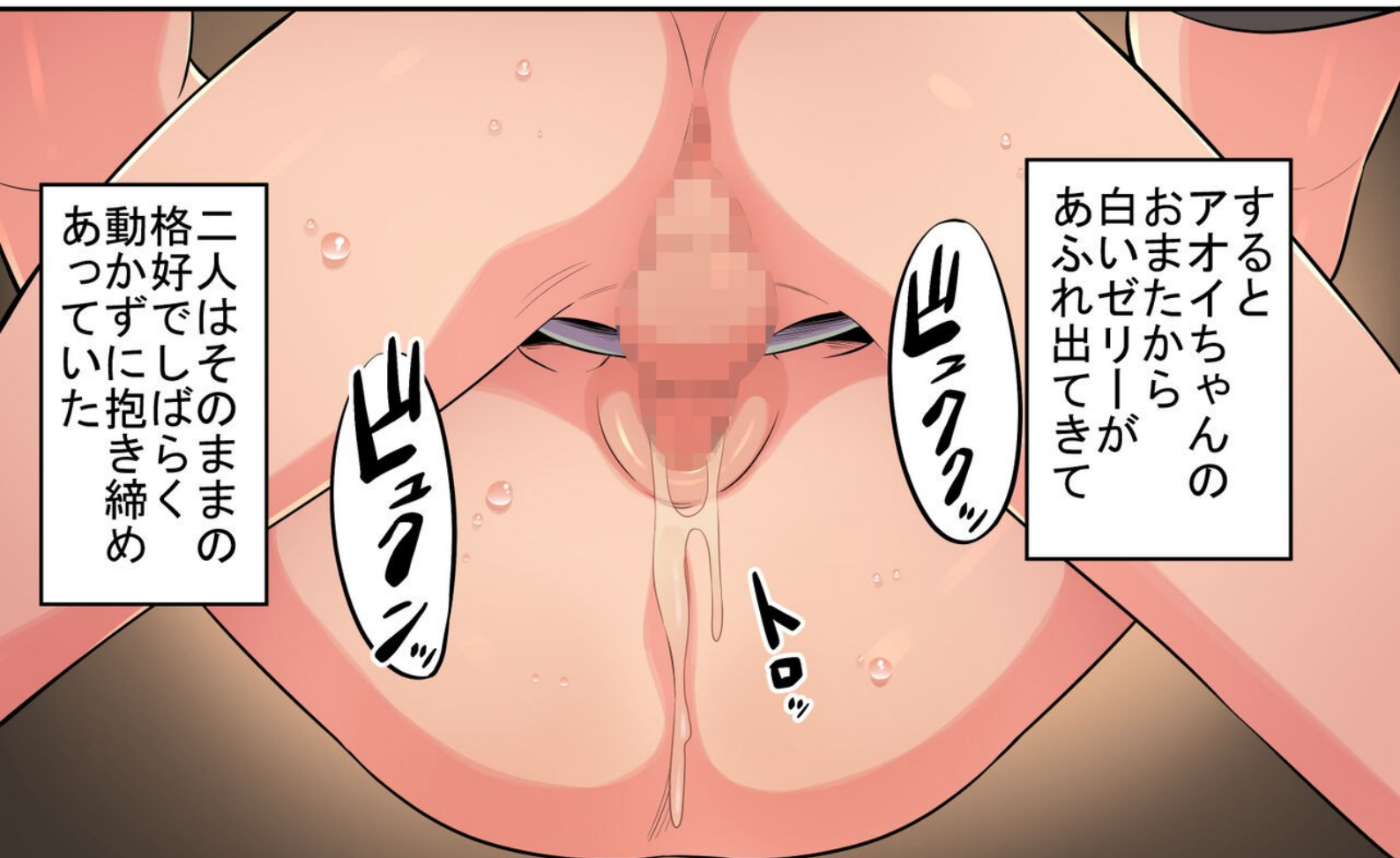






あ
あ
あ
ユウマ君が
苦しそうな声
を出したと思
ったたら
動きが止ま
った

…
出たの…？



すると
アオイちゃん
のおまたから
白いゼリーが
あふれ出て
きて

二人はそ
のままの
格好でし
ばらく
動かずに
抱き締め
あつて
いた

あの後
白いゼリーを満足気に
拭き取った二人は
教室に戻っていくと

あのボス強くて
なかなかクリア
できなくてさー
倒すの
手伝ってよ

もちろ
んい
いよ♪

ふふ
楽しみ♪

楽しそうに
おしゃべりを始めた
僕の知らない
ゲームの話し

いつもと
変わらない風景

ユウマ君と
アオイちゃんにとって
おまの擦りあいは
日常のことだったようで

放課後
倉庫前に
行ってみると……

二人はまた擦りあっていた

……!

ちゅん

ちゅん

ちゅん

さつきとは違う姿勢で

ユイナちゃん顔がはつきり見える

苦しいのかな？
顔が赤くなってる
辛そうだけど……

すぎ……

あ

あ

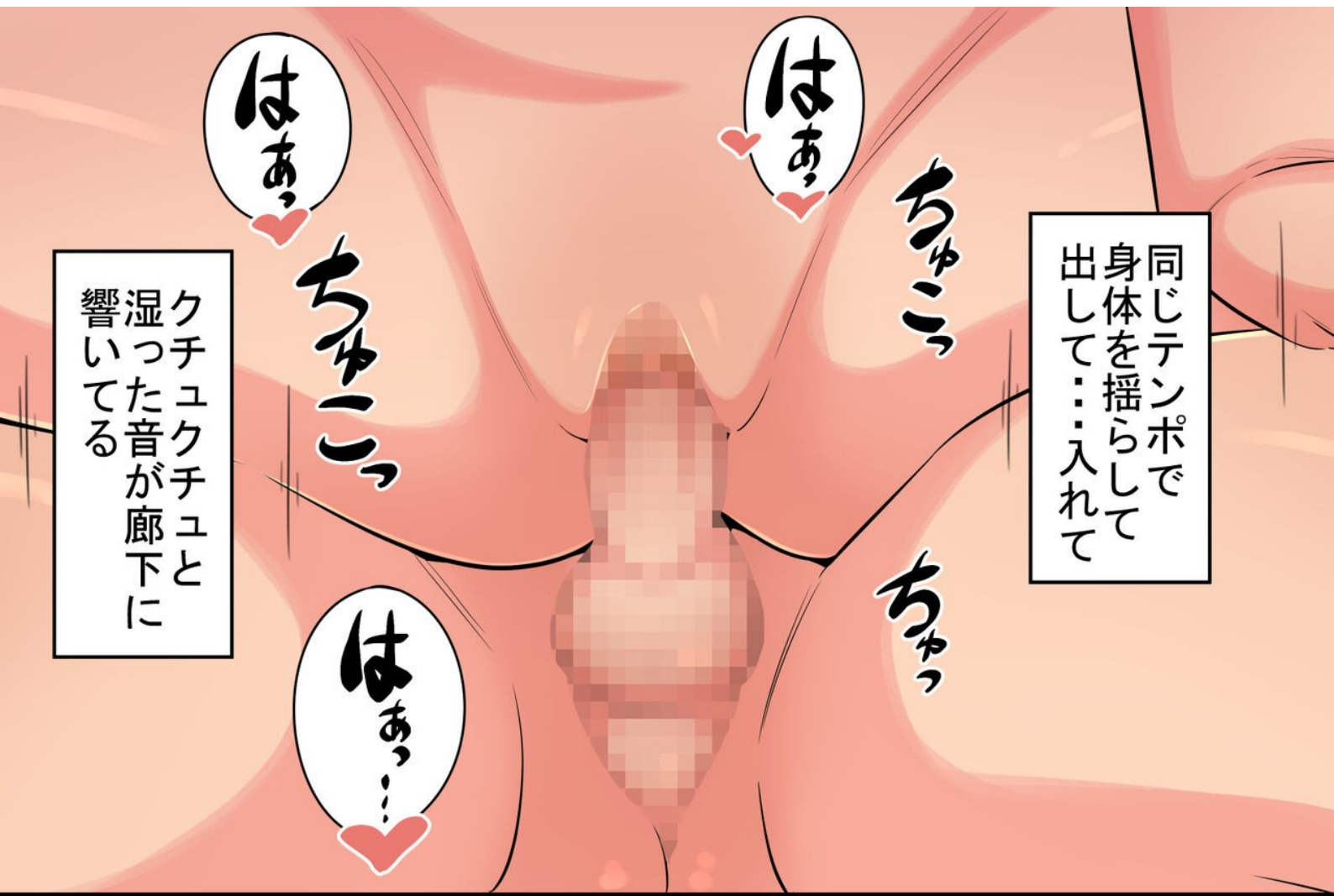
……ん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

オチンチンが奥まで入るたびに
ユイナちゃんかわいいうちを出す



同じテンポで
身体を揺らして
出して・・・入れて

ちゅっ

ちゅっ

はぁ

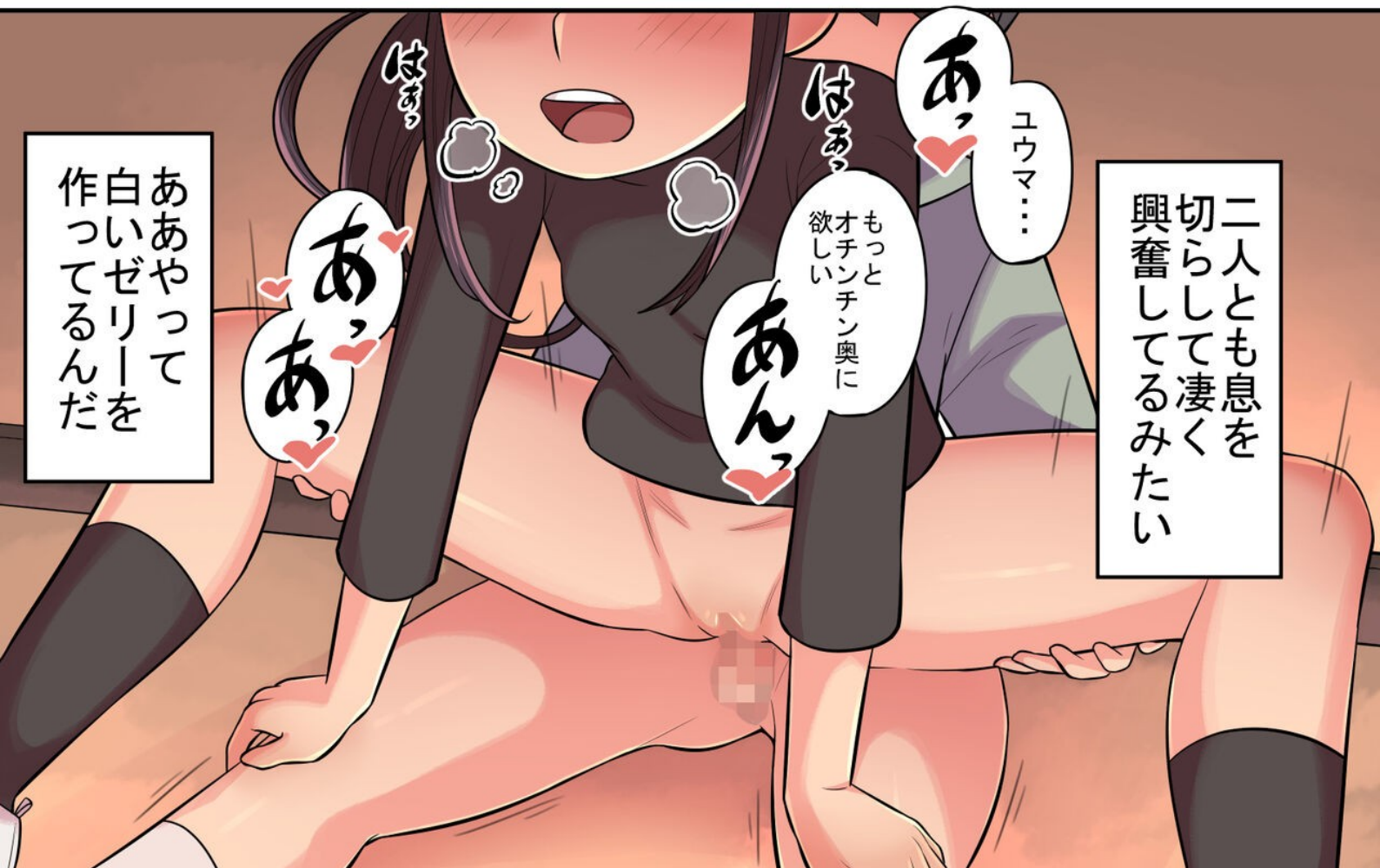


ちゅっ

はぁ...



クチュクチュと
湿った音が廊下に
響いてる



二人とも息を
切らして凄く
興奮してるみたい

ユウマ...

あ

はぁ

もっと
オチンチン奥に
欲しい

あん

はぁ

あ

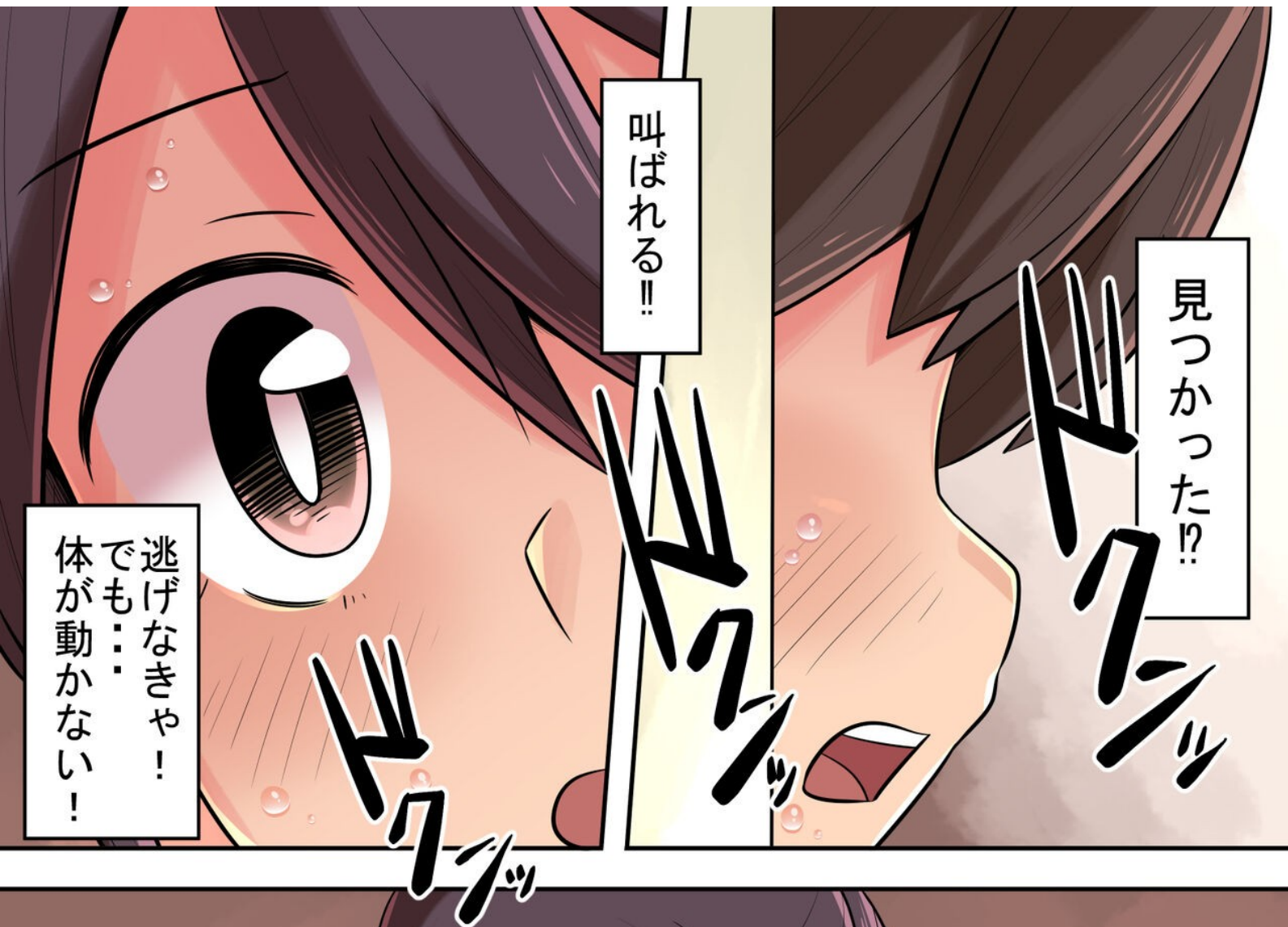
ああやって
白いゼリーを
作ってるんだ



やばい……!



あっ!



叫ばれる!!

見つかった!?

逃げなきゃ!
でも...
体が動かない!



あれ...?
アオイちゃん
叫ぶ様子もない...

え...? 静かになって...
見てて良いってコト?

ふっ
おちゃっ

ふっ
おちゃっ

ちゃっ

アオイちゃんは
少し微笑むと
服をめくって
おっぱいを
見せてくれた

ハアッ

ハアッ

ハアッ

男の子とは違う
しなやかなカラダ

大人とは違う
小さなおっぱい

ドロニッ

ちゃっ

ちゃっ

女の子の
エッチな部分が
全部見える

アオイのナカ……
いつもより熱い

めっちゃくちや
気持ちいいよ

わたし……
変になりそう

アオイちゃんの
体が赤くなつて
いくのがわかった

僕に見られて
ドキドキしてるの……?

ドロニッ

ドロニッ

ドロニッ

二人の動きが
徐々に激しくなって

アオイのナカに
すげえ締め付け
てくる

んん！！

んん

あん

んん

んん

アオイちゃんの
身体のナカで
激しくオチンチンが
のこすられてる
のが分かった

気持ちいい

んん

女の子って
オチンチンで
あんなに気持ちよく
なれるんだ

アオイちゃんの
エッチな顔……

エッチな声

好き……っ
ユウマあ！

あー！

あー！

いら

はあ

ムニッ

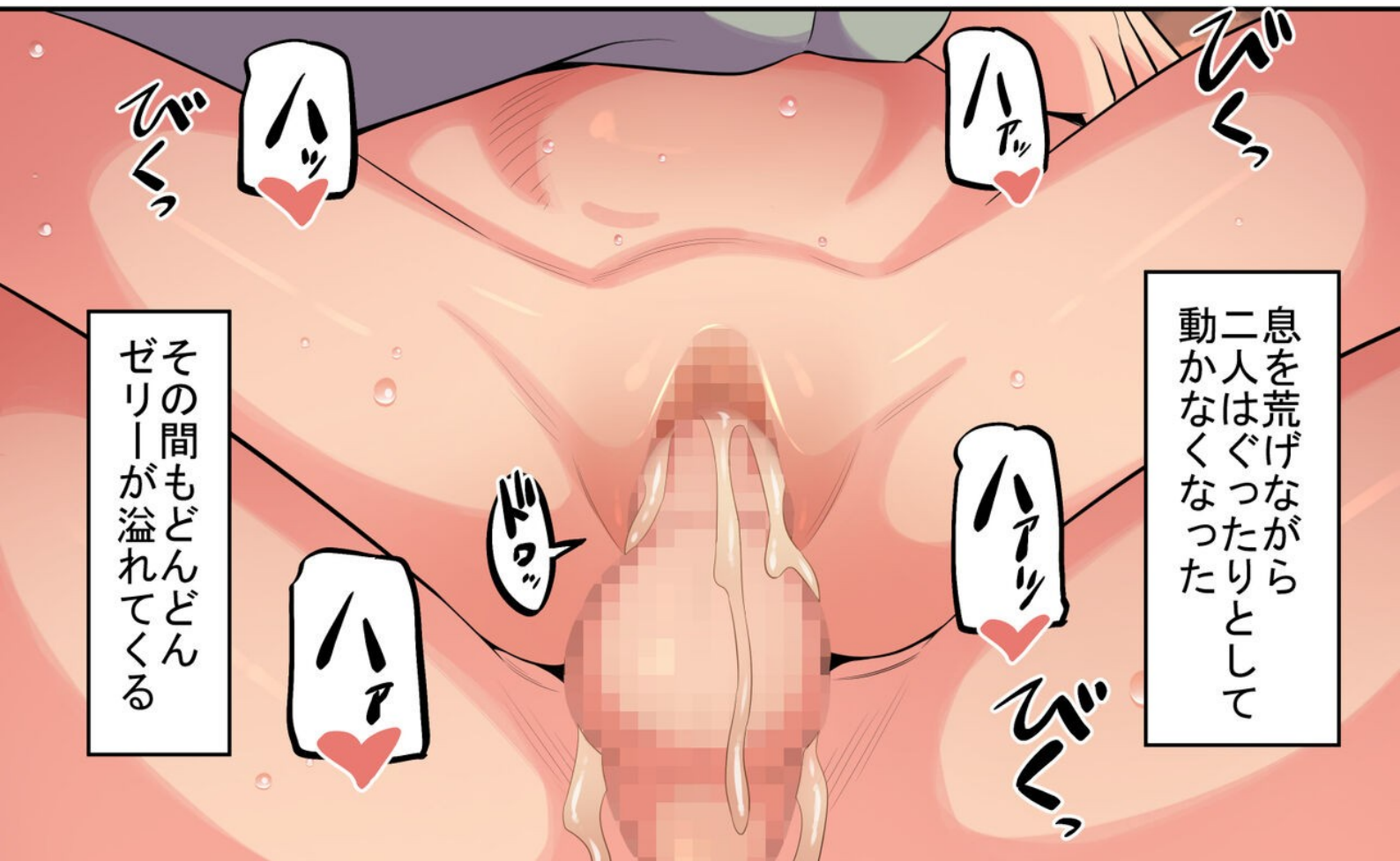
ムニッ

いくっ



それと同時に
白いゼリーが
ナカから噴き出した

悲鳴をあげながら
のけ反る
アオイちゃん



その間もどんどん
ゼリーが溢れてくる

息を荒げながら
二人はぐったりとして
動かなくなった

アオイちゃんは
僕には目もくれず
ユウマ君と抱き合っ
ていた
甘い声で囁きあっ
ていた

気持ちよかった…
とても幸せな
気分だよ

わたしも…
ユウマと
セックス
幸せ…

ずっと
こうしてたい

帰ったらまた
セックスしようぜ

ゲームは
その後でさ

幸せそうな二人
普段とは違う二人

その様子が
とても羨ましくて
僕のオチンチンは
どんどん痺れてい
った

女の子の割れ目
で擦ったら
痺れが取れるの
かな…？

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ



学校以外でも
ああやって

抱きしめ合って
気持ちよさそうに
擦り付けながら

白いゼリーを
作ってるんだろうな

その後も
アオイちゃん
何事もなかつた
かのように僕に
接してくれるけど

あれっきり
二人は倉庫前
に現れることは
なかった



僕の知らない世界

今この瞬間も
二人だけの時間
二人だけの記憶を
積み重ねている
んだろ

